



The control of 鮮 日四廿月一年八十三治明 通過 吾人の の露都の 韓國警務顧問官 CONTROL OF THE PARTY OF THE PAR 地は地方の智慣により大体に於て其材有と、船株式舎社に許可せらび師舎北は類弱丸類頭の地は方とれなり、然れども斯の如き間頭 ●本邦大連灣間航海の開始 本邦大連灣間航海の開始 本邦大連灣間航海の開始 本邦大連灣間航海の開始 本邦大連灣間航海の開始 本邦大連灣間航海の開始 本邦 建しても勝手に開発し付ると云人群のもれにあるればほるものなると以て、何郷の者が 内府とか、何々院、何々宮、何々部とか云、都筑福院院書記官長、伊集院海軍々令部次に二三元職地、党無地の所有機に、官有地(宮) 聴信各大臣、唐維海軍、登田外務兩次官、三二元職地、党無地の所有機に、官有地(宮) 聴信各大臣、唐維海軍、登田外務兩次官、 四〇九七四 实马斯特。 命至権公使(康哉)は出十八日午後六時東京 ギルの二後を以て复客の運命に從所する由 船株式會社に許可せられ間會社は劉鈞九舞 大選機間定期航海は全國機軍省より大坂商 付3桂鄉彈(杉秘書官代)、小村外務、大浦 O-OTO 去十九日附をつもて左の通り 氏の腋に曰く草梨、當滯埋立地の開拓は送 ●電気事業の将来、同量支配人山田 济阔公使阶事**移取粉**蒙動使免 數單步吳中佐。由 木 神器川南印 海 東 のかりま 一直関ニ 大のかり手 -E-01 御親補わらせ 仁愛 親親 王王 的は紀罪を未然に防ぐのて無間に必要する一する事に報えりまれより更に幹事後を開る のてす、舟二年十二件卅三年廿二件卅四年 くの人はそう言いますが、私な窓山の現況 精米なる。 主風浴が非常に現れてあるこの事ですが多一巻山輔精米所に放て製出るもへき摩擦輪のせは却て減少したかさ思はれます、殖民地「北は常釜山港に於ける需要米の多くは日朝・年月月れる」と、「カート」 ◎遠藤警察署長を訪 一体警察の日、絵形光紅部の政定を設置する事ば最々實施 ●足路米の り再召集せ 居留民會再召集 統一任活動する事名署育員一名を敢く事等 ●签母婦人會総會 別社員一名終身社員男百四名女四名、正針 は別項の通り流會に付明廿五日午後一時上 員男二百四十三名女三十六名りるが其の他 港に比較して其の数の少あるは顔る遺憾と 上の發達る對して配員の思想を 野害ご益 」 営業者の鉄に依 しく同會の問題となり居りし載 られたり 七割四分 一昨日午被二時年上

1 &]

勝負は十三とりて木の瀬と云へる

これの 大きない 大きなり

「魔魔性先令花がみに致してある花柳 ては多少の出荷のう目下の相場下の如し

定法,数据也为相比。

ガラ脈 , **阪**下

ハ速

周山區

式並

白

日四廿月一年八十三治期

報

成わりて色白き類に変形より選入す行く 洋食店の職屋なり

日)

(が、) からしる年では和らいます。 からしる年では和られた。 からしる年では和らしる年ではれた。 はいます。 からは、 からしる年ではれた。 はいます。 からしる年ではれた。 からいます。 からいまり。 からいまり。 からいまり。 からいます。 からいます。 からいます。 からいます。 からいまり。 からいまり。 からいます。 からいます。 からいます。 からいまり。 しんい

H

持へは長崎にて有名なる

の繁華を眼下に見て石墨高く築上けたる一

整ム月に梅園の造り九山寄合

說

1

野社今般本紙 優行致 侯に就は 一大方間 背の 一大方間 一大方間 一大方間 一大方間 一大方間 一大方面 一大方間 一大方間 一大方間 一大方間 一大方間 一大方間 一大方面 一大面 一大面

店原谷

〇九九 〇九九 〇四三 二九一

小天歌 非 里安山

TIOOIL SEE

ない。

STEE JA

OCC.

自動災

情報を 一〇 で 大一次

北京な

Ç K

それちや貧長、二万国口の方が光明があ

本代を成立していた。 ・大事と計算に立てしいった。 ・大き店は七十和で女中乃を浴波線の数は、 ・大き店は七十和で女中乃を浴波線の数は、 ・大き店は七十和で女中乃を浴波線の数は、 ・大き店はないかえ。

后北雲之

風

憬

何水 顧

スの投送と表大切としては海屋三馬文七元、 本書 は前社2日本日本石川五右衛門大序より後、本書 は前社2日本石川五右衛門大序より後、東京の大道2日本の大道

オー層ノ勉聯 ア瀬川 温川 温川 御勉 用勵ノ 向ラ御非 願以愛常 テ L 候營ヲ迅 也業家 多少二保ランと依一付テハ

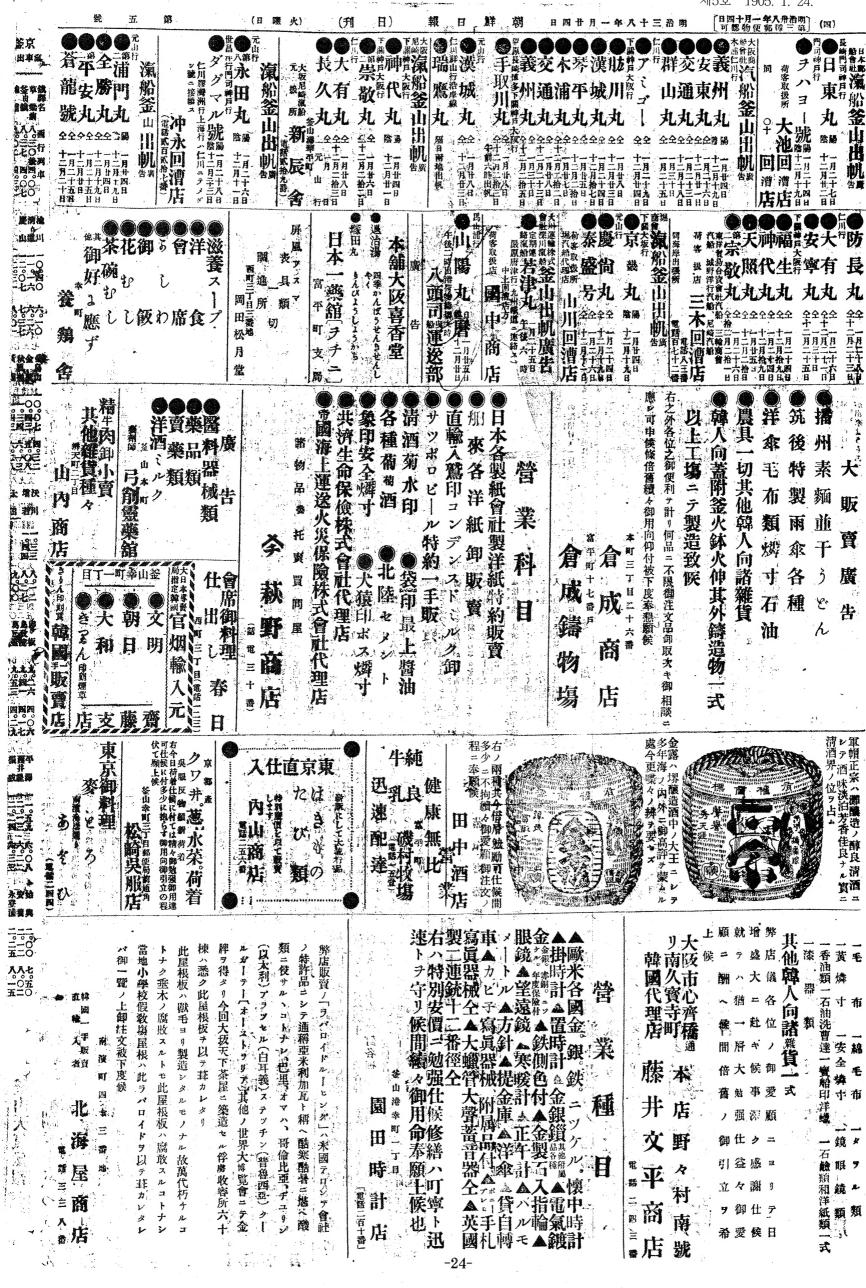
精白米

2 14

不尚汎右 搗 賃

托 迅 捘 二速米石 並以

-23-



-24-

in

平商店

々村 南號

引益感ョ

立々謝り タ御仕テ

希愛侯日